

# 地域活性化 京都府福知山市 「みわ・ダッシュ村」から という「遊び」 85 山本晋也

## 筆者プロフィール

1968年、京都生まれ。美術大学を卒業して渡米後、京都で現代美術作家として活動しながらオーガニックレストランを経営。食材調達のため畑も始める。結婚して3人の子供を授かったころ、農業生産法人みわ・ダッシュ村の清水三雄と出会い、福知山市の限界集落に移住。廃屋を修繕しながら家族で自給自足を目指す。現在みわ・ダッシュ村副村長。

## 「お金を稼ぐ」って どういうことなんだらう

欲しいもの、必要なものは自分で作る  
おもちゃも食べ物も道具も、そしてお金も  
これが山本家の方針  
子供たちも試行錯誤しながら……

おもちゃ、おやつ  
子供のころから

欲しいもの必要なものがあれば  
自分で作ってみよう  
というのが我が家の方針。  
サンタクロースも  
そのあたりの事情  
よくわかっていいるのか  
クリスマスに息子たちの枕元に  
置いていくのは  
お菓子やおもちゃの  
完成品ではなく



サンタさんが置いて行った木工用ボンドや鋏で  
恐竜のおもちゃ作り。

金槌やノコギリに針や糸に包丁と  
いう道具ばかりでした。  
そんな変わり者のサンタクロース  
のおかげか

はたまた必要にかられてかは  
よくわかりませんが  
サンタさんにいただいた道具で  
自分たちに必要なものは  
全てと言っても言い過ぎではない  
くらい作って来ました。  
大人になるにつれ  
サンタさんも来なくなるので  
欲しいものを作るための  
道具も材料も  
こんどは自分たちで調達しなけれ  
ばならなくなります。



大好物握り寿司。お腹いっぱい食べたいからと  
中学生のころから握っています。

そうなると今の世の中どうしても  
必要になってくるのがお金です。  
**我**が家の方針からいくと  
当然自分たちに必要なその  
お金つてものも

自分たちで作ってみよう  
となるわけですが  
そうなるって  
まず普通に  
頭に浮かぶのがアルバイト。  
そのアルバイトという行為が  
「自分たちに必要なお金を自分た  
ちで作る」ということにあたるか  
息子たちに問うてみたところ  
「うーん？」となりました。  
都会とは違い選べる業種が  
極端に限られるせい  
こんな田舎でアルバイトというと  
単純作業で拘束時間じつと我慢し  
ていれば  
なんとなくそれなりにお金がもら  
えるみたいなイメージがあり  
それは息子たちが考える本来の  
「お金を稼ぐ」ということとは  
ちよつと違う感じがするというのが  
「うーん？」となった理由。  
自営業でも会社員でも与えられた  
場所  
自分なりの特技を活かし  
自分の頭で考えて  
試行錯誤を繰り返しながら



ピザ生地  
こねるのが  
大変ですが  
楽しそうです。

クロワッサンが  
食べたかったので  
作りました。

得意の包丁使った  
コース料理も  
板について来て  
終わりはいつも  
撮影ラッシュです。

なんとか  
結果を出して  
はじめて報酬が得られるような  
責任と厳しさのある世界が  
本来の「お金を稼ぐ」ということ  
なんじゃないの  
というのが息子たちの出した  
現時点での答えです。  
**僕** 自身も経験としていろいろ  
意味ではアルバイトも  
な仕事をやってみるとい

良い面はあると思うのですが  
「お金を稼ぐ」  
という観点から見ると  
あまり考えることなしに作業をし  
ていけば  
確実にお金がもらえ  
そのお金で欲しいものが買える  
という「単純に物欲が満たされる  
ような経験」が  
本来の「お金を稼ぐ」ということ  
の理解につながるかというと  
やはりちよつと違うかなと思って  
いたので  
あまり考えずに  
とりあえずなんて気持ちで  
アルバイトをするのなら  
包丁研ぎでも料理でもコーヒーで  
もなんでもいいから  
「自分たちの得意なことを生かし  
て自分たちで商売をやってみた  
ら？」  
「お金を稼ぐ方法を自分たちなり  
に考えてみるのも結構おもしろい  
んじゃない？」  
と焚き付けてみました。  
サンタクロースが枕元に  
完成品ではなく材料や道具ばかり  
置いていったのは  
おもちゃで遊んだり  
お菓子を食べたりする  
単純な楽しみとは別の

作るといふ楽しみに  
気付くきっかけを与えたかったの  
ではないでしょうか。  
**宝** くじが当たって  
「お金がもらえたら  
単純に嬉しいとは思いますが  
自分たちで事業にチャレンジして  
得たお金というものこそ  
本当の稼ぎであり  
手にした時の喜びも宝くじとは根  
本的に違うものでしょう。  
お金もお菓子やおもちゃとあまり  
違いはなく  
それを作るといふ楽しみはまた別  
にあるはずです。  
そんなわけで  
お金儲けも楽しんでみよう！と  
長男が18歳になるころから始めた  
レストラン。  
当初はなかなかうまく行かず  
こんな時間に掛けて儲けがたっ  
たこれだけ？  
これやったらアルバイトしてる方  
がよっぽどましや！  
なんて愚痴をいう大変な時期も  
ありましたが  
コロナ渦もなんとか乗り越え  
商売の楽しさも  
少しはわかってきたのか  
今年に入って大きく売り上げが  
伸びはじめています。